



# 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 アイティフォー 上場取引所 東  
 コード番号 4743 URL <https://ir.itfor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 恒徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお TEL 03-5275-7841  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,522	3.4	733	24.0	770	22.0	520	21.0
2022年3月期第1四半期	4,681		964		987		659	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 576百万円 (6.0%) 2022年3月期第1四半期 543百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.88	18.83
2022年3月期第1四半期	24.03	23.94

(注) 1. 2023年3月期第1四半期における「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、「取締役向け株式交付信託」が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

2. 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。当該基準の適用により、売上高および利益に影響が生じるため、2022年3月期第1四半期における対前年同四半期増減率は記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	19,258	15,365	79.6	556.05
2022年3月期	20,010	15,606	77.9	565.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 15,335百万円 2022年3月期 15,579百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		30.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期配当金の内訳 普通配当25円00銭 記念配当5円00銭(創業50周年記念配当)

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,344	3.3	1,202	30.0	1,229	30.2	812	31.2	29.44
通期	18,500	8.7	2,875	5.2	2,941	5.3	1,943	8.0	70.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上、「取締役向け株式交付信託」が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	29,430,000 株	2022年3月期	29,430,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,851,304 株	2022年3月期	1,856,204 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	27,576,246 株	2022年3月期1Q	27,440,146 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」が保有する当社株式を含めておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは2021年度から2023年度を対象とした中期経営計画を策定し、経営基盤の強化、収益性の向上、E S G経営の進化の3つを柱に、「お客様に寄り添うチカラ」で持続的成長の実現を目指し、計画の達成に向け事業活動を推進しております。

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の予防対策として実施されていた各種活動制限の緩和が進み経済活動の持ち直しが期待されましたが、急激な円安の進行や緊迫するロシア・ウクライナ問題による国際情勢の不安定化、資源価格・原材料価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く国内ITサービス業界では、「非接触」や「非対面」を実現するデジタル化のニーズが引き続き高く、AIやブロックチェーンなど、デジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDX(デジタルトランスフォーメーション)を中心に企業の投資意欲は回復基調にあります。その一方で、一部の業種や企業では円安や原材料高騰の影響により、IT投資の抑制や先送りの動きが続いており、企業の投資計画の見直しについて注視しております。

営業活動においては、お客様の業務改革を支援する各種DXソリューションを幅広く展開していく中、コロナ禍での経営環境に即したシステムが安定的に推移しております。金融機関向けでは、無人化を実現する「ロボティックコール」の販売が順調に進み、ノンバンクを中心に新規顧客を獲得するほか、地域金融機関における業務の非対面化を実現する個人ローン業務支援システム「SCOPE」とローンWeb受付システム「WELCOME」を組み合わせた販売が引き続き好調で、申込用紙の削減や契約書類も電子化することで環境への配慮を実現しつつ、審査に費やす時間の短縮に貢献しております。これらにより、受注高は3,854百万円(前年同期比98.2%)、受注残は14,387百万円(前年同期比100.6%)となりました。損益面では、前連結会計年度の期首から適用された収益認識会計基準等により前年同期に計上した売上・利益増の影響および為替の円安の影響を受けております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,522百万円(前年同期比96.6%)、営業利益は733百万円(前年同期比76.0%)、経常利益は770百万円(前年同期比78.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は520百万円(前年同期比78.9%)と減収減益となりました。

なお、報告セグメント別の経営成績は次のとおりです。

#### (システム開発・販売)

基幹事業である金融機関向けのソフトウェア開発、インフラ設備の更改、延滞債権督促業務を無人化した「ロボティックコール」の導入などにより販売は堅調に推移しております。また、マルチ決済端末「i R I T S p a y 決済ターミナル」の販売も順調に推移しました。ただし、大型案件の受注が第2四半期にずれ込んだことにより、受注高は2,302百万円(前年同期比94.4%)となりました。なお、収益認識会計基準等により前年同期に計上した売上・利益増の影響および為替の円安の影響などにより、売上高は2,651百万円(前年同期比90.5%)、セグメント利益は394百万円(前年同期比61.3%)となりました。

#### (リカーリング)

安定収益源である保守サービスに加え、公共分野向けBPO(業務受託)サービスにおいて政令市・中核市を中心に、既存契約先からの追加受注に加え、新規受託先の売上が計上されるなど引き続き好調に推移しております。その結果、受注高は1,552百万円(前年同期比104.4%)、売上高は1,870百万円(前年同期比106.8%)、セグメント利益は338百万円(前年同期比105.8%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は19,258百万円となり、前連結会計年度末に比べて752百万円減少いたしました。流動資産は15,484百万円となり、779百万円減少いたしました。主な原因は、棚卸資産が151百万円増加しましたが、有価証券が499百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が373百万円減少したことなどです。固定資産は3,773百万円となり、27百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,892百万円となり、前連結会計年度末に比べて511百万円減少いたしました。流動負債は3,657百万円となり、517百万円減少いたしました。主な原因は、契約負債が337百万円増加しましたが、未払法人税等が416百万円、賞与引当金が242百万円、買掛金が117百万円減少したことなどです。固定負債は235百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は15,365百万円となり、前連結会計年度末に比べて241百万円減少いたしました。主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により520百万円増加しましたが、剰余金の配当の支払により831百万円減少したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.9%から79.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は公表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,635,748	3,541,225
受取手形、売掛金及び契約資産	2,589,925	2,216,516
有価証券	9,099,782	8,599,857
棚卸資産	671,614	822,614
その他	266,964	304,550
流動資産合計	16,264,036	15,484,764
固定資産		
有形固定資産	619,687	626,170
無形固定資産		
のれん	115,717	102,182
その他	472,188	448,711
無形固定資産合計	587,905	550,894
投資その他の資産		
投資有価証券	1,784,683	1,863,288
繰延税金資産	180,668	162,722
その他	573,553	570,478
投資その他の資産合計	2,538,905	2,596,489
固定資産合計	3,746,498	3,773,553
資産合計	20,010,535	19,258,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	947,003	829,710
未払法人税等	684,661	268,053
賞与引当金	530,643	287,990
契約負債	808,087	1,145,792
その他	1,204,042	1,125,646
流動負債合計	4,174,438	3,657,192
固定負債		
退職給付に係る負債	201,675	201,081
株式給付引当金	15,540	22,200
その他	11,951	11,951
固定負債合計	229,166	235,233
負債合計	4,403,605	3,892,425
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,359,266	1,359,556
利益剰余金	13,943,432	13,640,433
自己株式	△1,270,459	△1,267,113
株主資本合計	15,156,908	14,857,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423,869	478,925
退職給付に係る調整累計額	△1,715	△1,412
その他の包括利益累計額合計	422,154	477,512
新株予約権	27,867	30,834
純資産合計	15,606,930	15,365,892
負債純資産合計	20,010,535	19,258,318

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,681,135	4,522,037
売上原価	2,938,059	2,973,541
売上総利益	1,743,076	1,548,495
販売費及び一般管理費	778,443	814,939
営業利益	964,633	733,556
営業外収益		
受取利息	1,495	870
受取配当金	24,956	27,344
投資有価証券売却益	1,306	-
持分法による投資利益	5,307	4,609
その他	10,551	5,014
営業外収益合計	43,616	37,839
営業外費用		
支払手数料	1,992	903
その他	18,413	49
営業外費用合計	20,405	953
経常利益	987,844	770,442
特別利益		
新株予約権戻入益	86	-
特別利益合計	86	-
税金等調整前四半期純利益	987,930	770,442
法人税等	329,868	249,787
四半期純利益	658,062	520,655
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,284	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	659,346	520,655

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	658,062	520,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115,071	55,066
繰延ヘッジ損益	△96	-
退職給付に係る調整額	433	302
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△10
その他の包括利益合計	△114,697	55,358
四半期包括利益	543,364	576,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	544,649	576,013
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,284	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システム開発・販売」、「リカーリング」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類

「システム開発・販売」は、主にシステム機器販売、ソフトウェアやシステムインフラ基盤に関する設計・開発から導入・設置までの一貫したサービスを提供しております。

「リカーリング」は、主にソフトウェア保守、ハードウェアの保守・運用、クラウド、BPOサービスを提供しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム 開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,930,499	1,750,636	4,681,135	—	4,681,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,195	695	5,890	△5,890	—
計	2,935,694	1,751,331	4,687,025	△5,890	4,681,135
セグメント利益	644,575	320,058	964,633	—	964,633

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム 開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,651,559	1,870,478	4,522,037	—	4,522,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,142	730	4,872	△4,872	—
計	2,655,701	1,871,208	4,526,909	△4,872	4,522,037
セグメント利益	394,896	338,660	733,556	—	733,556